

企画総務委員会 送付27-5

二番町の日本テレビ(仮称) 麴町新スタジオ棟計画から教育環境を守ることを求める陳情

受付年月日 平成27年6月5日

陳情書

<趣旨>

私たち学校法人女子学院は、1870年に設立され、1890年に現在地、一番町へ移転し、現在中学校、高等学校合わせ女子生徒約1400名が通っています。「生徒が学ぶこと自体に喜びと意味を見出し、他者に仕える心を育て、自主自律した心豊かな人格を創り出す」との教育方針のもと女子教育を推進してきました。

昨年7月私たちは、日本テレビ放送網株式会社(仮称)麴町新スタジオ棟の計画概要を知り、驚き、事業者と再三話し合い、説明会での質疑を経ましたが、根本的な解決への回答を得ていません。私たちは、建設そのものに反対するものではなく、かの地域におきまして、日本テレビ、地域住民、そして、私どもを始めとする教育機関と、今後100年を見据えての共存、共栄のもと、品格ある良きまちづくりを進めていきたいのです。

その観点からこのたびの事業者の都合を最優先するという姿勢と結局は強引な建築計画の進め方については疑問を感じざるを得ません。

そこで、良好な環境にて教育を受ける権利を確保するため本計画の進め方及び計画内容について、千代田区議会において指導及び調査をお願いしたく、ここに陳情致します。

<陳情内容>

- 1(仮称)麴町新スタジオ棟については、日テレ通り沿いに建設することを求めます。
- 2 公開空地は住居地域側に設け、教育機関へも配慮された形で設置することを求めます。
- 3 女子学院と小田急麴町マンションに対面する麴町新スタジオ棟車両出入口については、日テレ通り側へ移設を求めます。
- 4 第一種文教地区での事業制限緩和をしないことを求めます。
- 5 準備工事期間も含め騒音対策および交通安全対策に万全を期すことを求めます。

<別添>

東京都知事、東京都議会議長および千代田区長宛に提出した陳情書、保護者配布報告書を添付します。行政が、事業者の立場のみならず、地域住民および地域を構成する私立学校の良好な環境維持のために指導調整の力を発揮するように区議会のご指導をよろしくお願い致します。

以上

平成27年6月5日

千代田区議会議長 戸張 孝次郎 殿